



KANAGAWA

ともいき 大学連携プロジェクト



(写真 令和7年12月14日共生社会実践セミナーにて)

「ともに生きる社会かながわ」を実現するため、
学生の皆さんと一緒に行う取組を募集します！

▶ **令和8年度 募集締め切り**

令和8年5月29日（金曜日）

▶ **応募方法**

下記ホームページ掲載の県問合せフォームからご連絡ください。
検討している方も、まずはお気軽にお問合せください！！

問合せ先

神奈川県 福祉子どもみらい局 共生推進本部室
TEL:045-210-4961 FAX:045-210-8854

HP : https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tomoiki_gakusei.html



神奈川県PRキャラクター
かながわキンタロウ



(二次元コード)

春～夏 県の取組について出張説明&相談



各校の皆さんのもとに県職員がお伺いします。
県の取組について経過や内容を皆さんに分かりやすく、
ご説明します。
皆さんのご希望に応じて、内容や時間も調整します。

各校が自主的な取組実施/県がサポート・助言

令和7年度に連携した学校の紹介（一部）



鎌倉女子大学 佐藤ゼミ

「共生社会をテーマとした音楽
を通じた子どもたちとの交流」



神奈川工科大学 人間機械共生研究室

「障がい高齢施設における
ロボットシステムの実証実験」



相模女子大学 さがつぱ当事者研究会

障がい当事者青年たちとの
発信活動「平等な社会とは？」



田園調布学園大学 和ゼミ

「産学官が連携したともに
生きる地域づくり」



県立保健福祉大学 在原ゼミ

「支援者が抱く葛藤
との付き合い方の検討」



川崎市立看護大学 川崎リンクス

「重度障がい者の在宅
生活を支える活動」



関東学院大学 麦倉ゼミ

「体験を通して障害の世界
を学ぶー視覚とスポーツ」



県立神奈川工業高校 電気科

「工賃向上を目指してー工業
高校の特色を活かした取組」

12月頃 共生社会実践セミナー※予定

（県庁にて約100人の参加者の前で実践発表/参加学生との交流）

- 活動内容については各校・学生の皆さんの考えや思いに応じて、相談しながら進めていきます。
- 応募にあたっては学校単位、ゼミ単位、サークル単位、有志でも可能です。
- 活動費の一部を県が負担します（詳細は応相談）
- 県の取組の出張説明&相談は無償です。県の出張説明&相談のみのご希望にも対応します。

平成28年7月26日に県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」で、大変痛ましい事件が発生しました。
このような事件が二度と繰り返されないよう、県と県議会は、ともに生きる社会の実現を目指し、
「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。
県は令和5年4月に「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」
が施行され、共生社会の実現に向けて取り組んでいます。